

01

## 同梱物を確認しよう

パッケージを開いたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

所要時間: 約 40分

## TD713

- V71 (ドラム音源) × 1
- PD-14DSX (デジタル・スネア) × 1
- CY-18DR (デジタル・ライド) × 1
- VH-14D (デジタル・ハイハット) × 1
- PDX-100 (タム 1、2、3、4) × 4
- CY-14R-T (クラッシュ 1) × 1
- CY-16R-T (クラッシュ 2) × 1
- MDH-STD (パッド・マウント) × 1
- ドラム・キー × 1

- 取扱説明書
  - TD713 セットアップ・ガイド (本書)
  - V71 クイック・スタート
  - Roland Cloud Connect セットアップ・ガイド
  - Roland Cloud アクティベーション・カード
  - PD-14DSX 取扱説明書
  - CY-18DR 取扱説明書
  - VH-14D 取扱説明書
  - PDX-100 取扱説明書
  - CY-16R-T / CY-14C-T 取扱説明書
  - CY-14R-T / CY-12C-T 取扱説明書

- ケーブル
    - 専用トリガー・ケーブル (MDS-Grand 2 に同梱)
    - トリガー・ケーブル (タム 4 接続用) × 1
    - 接続ケーブル × 3 (PD-14DSX, CY-18DR, VH-14D のそれぞれに同梱)
- ※ V71, PD-14DSX, CY-18DR, VH-14D, CY-14R-T, CY-16R-T の付属品は、それぞれの梱包箱に入っています。

## KD-12 (キック・ドラム)

※ KD-12 の付属品は、「KD-12 取扱説明書」を見ながら確認してください。

## MDS-Grand 2 (ドラム・スタンド)

※ MDS-Grand 2 の付属品は、「MDS-Grand 2 取扱説明書」を見ながら確認してください。

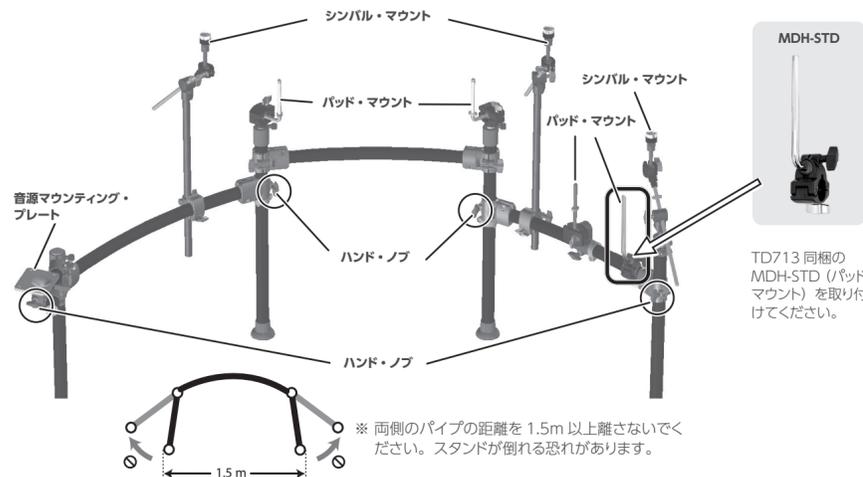
※ このパッケージには、キック・ペダル、ハイハット・スタンド、スネア・スタンドは含まれていません。市販のものをお使いください。

02

## ドラム・スタンド (MDS-Grand 2) を組み立てよう

『MDS-Grand 2 取扱説明書』の手順に従って、スタンドを組み立ててください。

所要時間: 約 30分



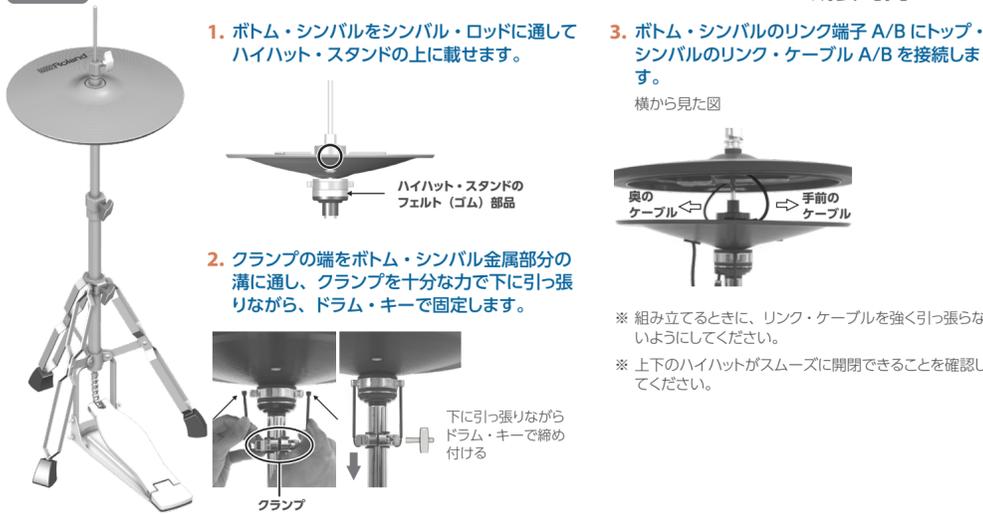
ここで前半の組み立てが終わりました。休憩はいかがですか？

03

## ハイハット (VH-14D) を組み立てよう

『VH-14D 取扱説明書』の手順に従って、ハイハットを組み立ててください。

所要時間: 約 10分



04

## キック・ドラム (KD-12) を組み立てよう

『KD-12 取扱説明書』の手順に従って、キック・ドラムを組み立ててください。

所要時間: 約 10分

## 注意

本体が重いので、作業中に手や足を傷けないように、十分ご注意ください。指をはさまないように、十分に注意してください。

1. 本体を立てた状態でレッグ固定用ノブをゆるめ、レッグの角度を調節してからレッグ固定用ノブを締めます。  
レッグの長さが左右均等になるように、ドラム・キーを使ってレッグの長さを調整します。
2. キック・ペダルを取り付けます。  
キック・ペダルが床に接地するように、ロッドの長さを調整します。

## フェルト・ピーターを使う場合

1. 打面を保護するため、必ず付属のキック・ドラム・パッチを打面に貼ってください。

フェルト以外のピーターを使う場合でも、パッチを取り付けての使用には問題ありません。

- ※ パッチをはがした痕跡 (のり) が気になる場合は、アルコールを含ませた布で拭き取ってください。
- ※ アルコールは打面以外に使用しないでください。樹脂などにアルコールが付着すると、変色や破損につながる恐れがあります。

05

## 各パーツを取り付けよう

※各パーツについて詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

所要時間: 約 50分

## スタンドへ設置するときの注意

『TD713 セットアップ・ガイド』(本書) の指示どおりに設置してください。

正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

## クラッシュ・シンバル (CY-14R-T / CY-16R-T) とライド・シンバル (CY-18DR) を取り付ける

1. シンバル・マウントの山部分とシンバル底面の谷部分が合うように載せません。
2. 適度な揺れが得られるように、シンバル・ナットを締めます。

※ ドラム・スタンドに付属のシンバル・ナットとフェルト・ワッシャーをお使いください。



3. ライド・シンバル (CY-18DR) の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、CY-18DR 付属の接続ケーブルのプラグを差し込みます。



## ハイハット (VH-14D) を設置する

VH-14D の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、VH-14D 付属の接続ケーブルのプラグを差し込みます。



※ 演奏中は常に、図のようにトップ・シンバルとボトム・シンバルのマーク (●) の位置を合わせておいてください。マークがずれると誤動作をすることがあります。

※ Roland ロゴが演奏者から見て奥側になるように配置します。

## ドラム音源 (V71) を取り付ける



クランプにマウンティング・プレートを差し込み、クランプ・ノブを回して、マウンティング・プレートを固定します。ケーブル・タイでケーブルをスタンドに固定してください。



## タム (PDX-100) を取り付ける



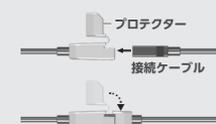
## スネア (PD-14DSX) をスネア・スタンドに取り付ける

PD-14DSX は、市販のスネア・スタンドに取り付けて使用してください。



※ 必ず 14 インチのスネアに対応した、スネア・スタンドをお使いください。

1. PD-14DSX の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、PD-14DSX 付属の接続ケーブルのプラグを差し込みます。



## キック・ドラム (KD-12) を調節する

1. 設置場所に合わせて、レッグの先端 (スパイク/ラバー) を調節します。

スパイク	柔らかい床面 V-Drums マット (TDM シリーズ)、カーペットなど
ラバー	固い床面 フローリング、コンクリートなど

フット・ナットをゆるめ、フットを回して上に動かすと、スパイク部分が出ます。フット・ナットを締めると、フットの位置を固定できます。



※ スパイクの先端はとがっていますので、取り扱いに注意してください。

※ フローリングなどの床の上でスパイクを使うと、傷を付ける恐れがあります。

2. ピーターの位置を調整します。  
ピーターの位置が打面中央に当たるように、ピーターの長さを調整します。

## ツイン・ペダルを使う場合

KD-12 は、ツイン・ペダルを使用することもできます。2つのピーターの打点が、打面の中心から左右対称になるように設置してください。



詳しくは『KD-12 取扱説明書』をご覧ください。



## 06 パッドとドラム音源を接続しよう

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞って、すべての機器の電源を切ってください。

所要時間: 約 10分

1. スタンド (MDS-Grand 2) に同梱されているケーブルの、I型プラグをドラム音源 (V71) に接続します。



マーキング・ラベル	KIK	T1	T2	T3	T4
TRIGGER IN 端子	KICK	TOM 1	TOM 2	TOM 3	TOM 4

マーキング・ラベル	CR1	CR2	AX1
TRIGGER IN 端子	CRASH1	CRASH2	AUX 1

2. ケーブルのL型プラグを各パッドに接続します。

ケーブルを接続するときは、ケーブル両端のマーキング・ラベルを参照してください。



### 注意

- CY-14R-T / CY-16R-T はクラッシュ・シンバルとして使用します。ベル・ショットはできません。



- TOM4 の接続には、TD713 に同梱のトリガー・ケーブルを使用してください。

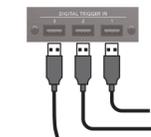
これで、組み立てと接続が完了しました。

接続が完了したら「V71 クイック・スタート」の手順に従って電源を入れ、音が鳴るかを確認してください。

## PD-14DSX (スネア)、CY-18DR (ライド)、VH-14D (ハイハット) の接続

1. V71 の DIGITAL TRIGGER IN 端子に、接続ケーブルのプラグを差し込みます。

※ 1～3 のどこに接続しても構いません。



接続したケーブルは、演奏の妨げにならないように、各マウントのケーブル・クリップで固定してください。



### 左利き用のセッティングにする場合

本ガイドで説明しているセッティングは右利き用です。左利き用のセッティングにする場合は、ドラム音源 (V71) の位置はそのままに、各パッド/シンバル類を、取り付けクランプごと左右対称で入れ替えてください。

その際、一部のケーブルの長さが不足しますので、市販の延長ケーブル (TRS 標準メス ↔ TRS 標準オス) を使って、ケーブルの長さを調節してください。

## 07 スネア (PD-14DSX)、ライド・シンバル (CY-18DR)、ハイハット (VH-14D) の設定

DIGITAL TRIGGER IN 端子に PD-14DSX、CY-18DR、VH-14D を初めて接続すると、以下の画面が表示されます。画面に従って、PD-14DSX をスネアに、CY-18DR をライドに、VH-14D をハイハットに設定します。



※ TRIGGER IN 端子に接続したパッドと同じトリガー・インプットに割り当てると、TRIGGER IN 端子に接続したパッドの音は出力されません。

1. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

TRIGGER - DIGITAL PAD 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンで「PD-14DSX」[CY-18DR] または「VH-14D」の Assign (アサイン) を選び、[-] [+ ] ボタンまたはダイヤルで設定します。

PD-14DSX	SNARE
CY-18DR	RIDE
VH-14D	HI-HAT

3. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

## 09 ハイハット (VH-14D) の調整

VH-14D を使用するときは、接続したあとに必ず V71 でオフセットとハイハットの調整をしてください。

オープン、クローズやペダルの動きを正しく検出するために必要です。

### オフセットを調整する

1. V71 の [TRIGGER] ボタンを押します。

2. [F4] (HI-HAT) ボタンを押します。

TRIGGER HI-HAT 画面が表示されます。

Trig Type が「VH-14D」になっていることを確認します。



3. [F6] (OFFSET) ボタンを押します。

HI-HAT OFFSET ADJUSTMENT 画面が表示されます。

4. VH-14D のクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットを閉じた状態にします。

※ ハイハット本体やペダルには触らないでください。



5. [F6] (EXECUTE) ボタンを押します。

キャリブレーションが開始され「Processing…」と表示されます。キャリブレーションが終了すると「Complete!」と表示され、TRIGGER 画面に戻ります。

6. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

### メモ

V71 の [KIT] ボタンを押しながら [TRIGGER] ボタンを押して、オフセットを調整することもできます。

### ハイハットを調整する

1. トップ・シンバルとボトム・シンバルの間隔を 10mm 程度に調節し、クラッチ・スクリューを締め付けます。



※ 間隔は演奏しやすい距離に調節できますが、狭すぎたり広すぎたりすると誤動作を起こし、思いどおりに演奏できないことがあります。10mm が最も自然な感じで VH-14D を演奏できる間隔です。

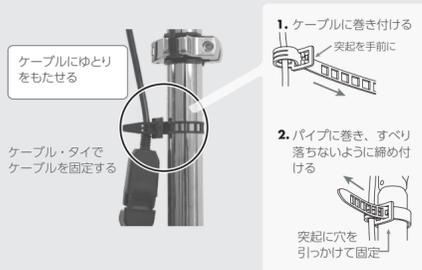
2. ペダルのパネのテンションを、ハイハット・スタンドで調節します。

テンションの調節方法については、お使いのハイハット・スタンドの取扱説明書をご覧ください。

※ パネのテンションが強すぎたり弱すぎたりすると、誤動作を起こし、意図した演奏ができないことがあります。

※ スタンドによっては、調節できない場合もあります。

### ケーブルの固定方法



### 注意

- ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上には影響ありません。
- ハイハットの詳細については、「VH-14D 取扱説明書」をご覧ください。

## 08 トリガー・バンクを TD713 に設定する

1. [TRIGGER] ボタンを押します。

2. [F1] (BANK) ボタンを押します。

TRIGGER BANK 画面が表示されます。

トリガー・バンク・ナンバー



トリガー・タイプ

3. トリガー・バンク・ナンバーにカーソルを合わせ、[-] [+ ] ボタンまたはダイヤルでトリガー・バンクを TD713 に設定します。

4. [KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

## 09 ハイハット (VH-14D) の調整

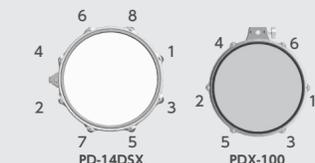
## 10 PD-14DSX、PDX-100 のヘッドの張り具合を調節する

適切な打感が得られる張り具合に調節してください。

※ ヘッドの張り具合は、工場出荷時はゆるめになっています。ヘッドはやや強めに張ってください。ヘッドの張り具合がゆるすぎると、誤動作や故障の原因になります。

1. それぞれのチューニング・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結び順に調節します。

2. ヘッドの張り具合が均等になるように、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。



### 注意

- 1 箇所のチューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感が得られなくなるだけでなく、誤動作の原因にもなります。
- ヘッドの張り具合の調節は、打感の調節をするもので、アコースティック・ドラムのように音の高さ (ピッチ) を調節するものではありません。ピッチは、ドラム音源の音色エディットで調節します。詳しくは、使用するドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

音が鳴ったら、次は Roland Cloud に接続しよう!

Roland Cloud ではプレミアムなサウンド・コンテンツを次々と提供していきます。

「Roland Cloud Connect セットアップ・ガイド」(別紙) の手順に従って、Roland Cloud に接続しましょう。

## 安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには	
<b>警告</b> 取り扱ったときに、使用者が死に至る危険を負う可能性が想定される内容を表示しています。	図記号の例 △は、注意 (危険、警告を含む) を表しています。具体的な注意事項は、△の中に描かれています。左記の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
<b>注意</b> 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を表示しています。	⊘は、禁止 (してはいけないこと) を表しています。具体的な注意事項は、⊘の中に描かれています。左記の場合は、「分解禁止」を表しています。
※ 特定の製品には、家庭・業務用タイプの異なる、ベットのかわる製品が搭載されています。	●は、強制 (必ずすること) を表しています。具体的な注意事項は、●の中に描かれています。左記の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

- 警告**  
次のような場所で使用や保管はしない  
● 温度が極端に高い場所 (直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)
  - 水気の近く (風呂場、洗面台、濡れた床など) や湿度の高い場所
  - 湯気や油煙が当たる場所
  - 塩害の恐れがある場所
  - 雨に濡れる場所
  - ほこりや砂ぼこりの多い場所
  - 振動や揺れの多い場所
  - 風通しの悪い場所
- 警告**  
指定のスタンドを使用する  
本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド (型番: MDS シリーズ) を使用してください。
  - 警告**  
不安定な場所に設置しない  
本機の設置にスタンド (型番: MDS シリーズ) を使用する場合は、ぐらつきやすい場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。
  - 注意**  
スタンドへ設置するときの注意  
TD713 セットアップ・ガイドの指示どおりに設置してください。  
正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

- 警告**  
お子様がけがをしないように注意する  
お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが、監視/指導してあげてください。
- 注意**  
指定のスタンドのみ使用する  
本機は当社製のスタンド (MDS シリーズ) とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。
- 注意**  
移動するときにはすべての接続をはずす  
ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。
- 注意**  
移動するときの注意  
本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんで、足の上に乗ったりしないように注意してください。

- 注意**  
指などをはさまないように注意する  
下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。必ず大人のかたが操作してください。
  - スタンド類
  - ペダル類
  - ノブ類
- 注意**  
小さな部品はお子様の手が届かないところに置く  
下記の部品はお子様がかんたんに取り出せる場所に保管してください。
  - 付属品  
● ケーブル・クリップ  
● ケーブル・タイ  
● ドラム・キー
  - 取りはずし可能な部品  
● ネジ類  
● ワッシャー類  
● ナット類  
● フェルト・ワッシャー  
● スプリング  
● ハンド・ノブ

## 使用上のご注意

- 設置について**  
● 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
  - 修理について**  
● お客様が本機または付属品を分解 (取扱説明書に指示がある場合を除く)、改造された場合、以後の性能について保証できません。また、修理をお断りする場合があります。
  - 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または当社サポート窓口にご相談ください。
- その他の注意について**  
● 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がかけられないよう注意しましょう。
  - 本機を返送するときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
  - 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。
- 知的財産権について**  
● Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
  - 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
  - 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。